

GET2019春(タイコース)参加申込受付中!

開催概要

第20回 GETタイ研修



【研修場所】 タイ、バンコク市内

【日程】 2019年3月23日(土)~3月30日(土) 8日間

【事前研修】 2019年2月24日(日)(都内)

【事後研修】 2019年4月14日(日)(都内)

【対象】 高校生、大学生(語学力・学年・学部などは問いません)

【定員】 20名(定員になり次第締切)

※最少催行人数10名に満たない場合は中止となることもございます。

【費用】 169,800円(税込)

※含まれているもの:研修費、航空券代、現地での食費・宿泊費・交通費など

※含まれていないもの:海外旅行保険費、国内での食費・交通費など

【申込締切日】 2019年2月4日(月)

※開催概要は変更になる場合がございます。

詳しくはGETのホームページをご覧ください。→

GET海外

検索

海外が
初めての方
大歓迎!

ADMISSION

入会のご案内

当協会は、協会の活動にご賛同いただく皆様からのご支援で運営されています

【会員資格】 当協会の活動にご賛同いただける方でしたら、どなたでもご入会いただけます。

【会費】 【法人会員】 600,000円(年間) 【個人会員】 一口5,000円 ※一口以上(年間)

*法人の方は、所得控除の適用となります(非課税扱い)。 *個人の方は、所得控除・税額控除のいずれかを適用できます。

●ご入会希望の方は下記までお問合せください

お問合せ

公益財団法人 日本ユースリーダー協会

〒107-0052 東京都港区赤坂1-1-14 野村不動産溜池ビル5F

TEL: 03-6441-0581 FAX: 03-6441-0582

web: <http://www.youthleader.or.jp> mail: day@youthleader.or.jp当協会の
ホームページは
こちら→

YOUTH LEADER

2018 秋季号

CONTENTS

P.02-04

平成30年度上半期活動内容

P.05

平成30年度下半期活動予定

P.06-07

平成30年度上半期 活動報告
海外研修実施報告
(海外研修/日本→ASEAN)

P.08-09

平成30年度上半期 活動報告
GET2018夏 研修報告

P.10-11

アンケート
GET過去参加者 OB・OGの声

P.12

平成30年度下半期 活動予定
第10回「若者力大賞」表彰式

P.13

平成30年度下半期 活動予定
「アジアからの来日研修」
下期の計画

P.14

平成30年度下半期 活動予定
「ASEANとの交流活動」
下期の計画

P.15

「NEXT50委員会」下期の計画

若者とともに50年。
そして、明日も。

公益財団法人

日本ユースリーダー協会

DEVELOPMENT ASSOCIATION FOR YOUTHLADERS

〒107-0052 東京都港区赤坂1-1-14 野村不動産溜池ビル5F

TEL: 03-6441-0581 FAX: 03-6441-0582 mail: day@youthleader.or.jp web: <http://www.youthleader.or.jp>

平成30年度上半期活動内容

First half activities report of 2018

4月

15日 「GET2018春(インドネシアコース)事後研修会」開催

2012年からスタートした「海外研修 GET(ゲット)(Global Education Tour)」。通算で17回目となる2018春・インドネシアコースの現地研修から帰国後の4月15日(日)、事後研修会を東京・麹町の剛堂会館で開催。現地家族とのふれあいを体験したホームステイ、小学校での日本を伝える授業、そして現地の大学生への意識調査の結果などの発表が、各チームごとに行われました。協会役員や学校関係者のゲストを前に、緊張しながらも成果を発表し終えて、最後は修了証が授与されました。



24日 「平成30年度 第1回理事会」開催

今年度第1回目の理事会を、4月24日(火)15:00～16:30、協会事務所で開催いたしました。理事総数19名のうち本人出席10名、事前書面審議回答者7名、欠席2名で行われ、「平成29年度事業報告・収支決算」について審議、承認されました。本原案をもって評議員会を招集することを決議。また、評議員会に推薦する新任理事候補者について審議、承認されました。

「月次会計監査」実施

毎月、監事の谷中和也氏による月次会計監査を行っています。4月24日、平成30年3月分の会計監査を実施いたしました。(※5月以降も運営幹事会開催日にあわせて毎月監査を実施いたします。)

「NEXT50委員会発足」キックオフ会議開催

2019年7月に、当協会は設立50周年を迎えます。そこでこれまでの50年を振り返るとともに、公益法人の期待される役割も時代とともに変わっていく中で、あらためてこれからの果たすべき役割を見つめなおすことを目的として、理事会の中に「NEXT50委員会(委員長:隈丸優次理事)」を設置いたしました。そのキックオフ会議を4月24日、協会事務所で開催いたしました。

5月

14日 「第29回 異業種交流研修会」開催

国内研修委員会(委員長:小笠原幹治理事)が担当する「異業種交流研修会」。企業の中堅幹部社員を対象に2008年から毎年実施しています。5月14日(月)、通算第29回目となる異業種交流研修会が、東京海上ホールディングス本社で開催されました。講師には、同社代表取締役社長の永野毅氏をお迎えし、「東京海上グループの挑戦ー日本発のグローバルGood Companyを目指してー」と題してご講演をいただきました。永野社長様は会場の中まで足を運ばれての熱演でした。講演の後は、講師を囲んでの恒例の交流会で会話が弾みました。



22日 「平成30年度 評議員会・第2回理事会」合同開催

平成30年度評議員会を5月22日(火)、赤坂インターシティ Airにおきまして、今年度第2回目の理事会と合同で開催いたしました。評議員総数12名のうち本人出席11名、欠席1名で行われ、「平成29年度事業報告・収支決算」について審議、満場一致で承認されました。続いて「任期満了に伴う理事の改選」について審議、承認されました。(※理事一覧はホームページでご覧ください。)最後に、平成30年度の事業計画ならびに収支予算について説明が行われ、各事業委員会の委員長から詳細の内容が報告されました。



5月

24日 「第60回 アジアの会」(大阪支部)開催

通算第60回目を迎えた「アジアの会」が、5月24日(木)、ハービス大阪・ガーデンシティクラブにおいて開催されました。記念すべき60回目の例会は、金沢蔵協会事務局長が講師をつとめ、前職時代の豊富な体験をもとに「現場エンジニアの視点で感じたアジアの人々」と題してお話をお伺いいたしました。

「第35回 AJAFA-21 TV会議」実施

国際交流・研修委員会(委員長:阪本時彦理事)では、海外研修GETのほかに、当協会の貴重な海外ネットワーク組織である「AJAFA-21」(ASEAN10か国との交流組織:アジャファ21)との交流活動に積極的に取り組んでいます。その中で、2009年から開始しているASEANと日本をつなぐ「AJAFA-21・TV会議」を、5月24日(木)、JICA本部と各国JICA事務所とをTV中継して実施いたしました。各国団体からの活動報告のあと、今年度のユースフォーラム(カンボジア)や代表者会議(フィリピン)の計画について議論が交わされました。日本(当協会)からは、海外研修GETの受け入れ協力のお願いや、さくらサイエンスプランの招聘について説明を行い、各国から大きな期待と関心が寄せられました。



28日 「平成30年度 第1回運営幹事会(5月度)」開催

5月度の執行理事会(=運営幹事会)を、5月28日(月)、協会事務所で開催いたしました。資金繰りの状況報告、会計監査報告、委員会委員の委嘱のあと、各委員会から活動報告が行われました。

「月次会計監査」実施

6月

13日 「平成30年度 第2回運営幹事会(6月度)」開催

6月度の執行理事会(=運営幹事会)を、6月13日(水)、協会事務所で開催いたしました。資金繰りの状況報告、会計監査報告、GET2018夏の実施計画、次回異業種交流研修会講師の検討などが協議されました。

「月次会計監査」実施

7月

16日 「GET2018夏(ミャンマー・ベトナムコース)事前研修会」開催 →詳細はP7へ

通算で第18回目と19回目となる海外研修GETは、「(第18回)8月3日～10日・・・ミャンマー・ヤンゴン」「(第19回)8月17日～24日・・・ベトナム・ハノイ」の2コースで実施することが決まり、7月16日(月)に両コース合同で事前研修会を、東京・麹町の剛堂会館で実施いたしました。

23日 「第12回 若手研修会」開催

法人会員の若手社員を中心とした企業人向け研修「若手研修会」。2013年から開始して通算12回目となる研修会を、7月23日(月)、パソナグループ本部(JOB HUB SQUARE)で開催いたしました。2部構成で、第1部は、都心のど真ん中にある牧場:「大手町牧場」の見学と、多様な価値観をもって働く人々が集いあうスクエア内の各種施設を見学、パソナグループの掲げる企業理念に触れることができました。第2部は、講師に当協会理事でパソナ(株)常勤監査役の野村和史氏をお迎えして、「ベンチャー企業 パソナの起こり、そして今日まで」と題してご講演をいただきました。講演会の後は恒例の交流会で、異業種間の交流を深めていただきました。



平成30年度上半期活動内容

First half activities report of 2018

7月

24(火) 「平成30年度 第3回運営幹事会(7月度)」開催

7月度の執行理事会議(=運営幹事会)を7月24日(火)、協会事務所で開催いたしました。進捗報告の後、会長サロンの内容検討、NEXT50委員会から会員など外部からのヒヤリングの検討などが協議されました。

「月次会計監査」実施

8月

3(金)～10(金) 「GET2018夏(ミャンマーコース)」実施
→詳細はP8へ17(金)～24(金) 「GET2018夏(ベトナムコース)」実施
→詳細はP9へ

20(月) 「若者力大賞実行委員会(選考委員会)」開催

今年度で第10回目となる「若者力大賞」。今年も実行委員会(委員長:池本修悟理事)を組織し、候補者の推薦募集を進めてきました。その結果、応募総数60件(個人・団体)の候補者が揃い、実行委員による第一次選考会が、8月20日(月)協会事務所で行われました。選考は、候補者を5つの評価基準で採点して絞り込みを行い、その中から授賞候補者を選考しました。9月以降、各候補者と個別に面談を行い、最終候補者を固めて審査委員会に推薦します。今年度第10回目の表彰式は、2019年2月19日(火)に行われます。今回はどんな素晴らしい受賞者が選ばれるのかどうぞ楽しみに!(*関連記事は12ページをご覧ください。)



●第9回表彰式(2018.2)

21(火) 「月次会計監査」実施

9月

6(木) 「第36回 AJAFA-21 TV会議」実施

ASEAN各国をつなぐ今年度第2回目(通算第36回)のTV会議を、9月6日(木)、各国のJICA現地事務所を中継して開催いたしました。11月に予定されているリージョナル・リーダーズ・フォーラム(開催地:カンボジア)や、来年3月の第31回代表者会議(ECM)(開催地:フィリピン)について、意見交換が交わされました。

9(日) 「GET2018夏(ミャンマー・ベトナムコース)事後研修会」開催
→詳細はP7へ

10(月) 「第61回 アジアの会」(大阪支部)開催

通算第61回目の「アジアの会」が、9月10日(月)、ハービス大阪・ガーデンシティクラブにおいて開催されました。講師には、パリ伝統衣装研究家の武居郁子氏をお迎えし、「パリを抱きしめてー不思議がいっぱいソバリの魅力」と題してご講演をいただきました。

13(木) 「平成30年度 第4回運営幹事会(9月度)」開催

9月度の執行理事会議(=運営幹事会)を9月13日(木)、協会事務所で開催いたしました。進捗報告の後、GET終了報告、大賞選考状況、会長サロンのヒヤリング内容などが協議されました。

「月次会計監査」実施

平成30年度下半期(10-3月)活動予定

Second half activities schedule of 2018-2019

平成30年
(2018)

10月

11月

12月

平成31年
(2019)

1月

2月

3月

日付	
1～7	「さくらサイエンスプラン」(中国・高校生)来日研修 →詳細はP13を参照
15	「GET2019春(タイコース)2019.3.23～30」募集開始(予定)
17	「(10月度)運営幹事会」(協会事務局)
21	「親子体験学習 新江ノ島水族館見学イベント」
29	「第30回異業種交流研修会(講師:藪中三十二氏)」(芝パークホテル)
2	「平成30年度第3回理事会」(芝パークホテル)
8	「第37回AJAFA-21・TV会議」(JICA)
9	「第7回会長サロン」(芝パークホテル)
20	「(11月度)運営幹事会」(協会事務局)
23～30	「さくらサイエンスプラン」(タイ高校生)来日研修 →詳細はP13を参照
29～12/2	「第24回AJAFA-21・Regional Leaders Forum」(カンボジア) →詳細はP14を参照
20	「(12月度)運営幹事会」(協会事務局)

日付	
17	「(1月度)運営幹事会」(協会事務局)
25～2/1	「さくらサイエンスプラン」(ベトナム高校生)来日研修 →詳細はP13を参照
13	「(2月度)運営幹事会」(協会事務局)
19	「第10回若者力大賞表彰式」(六本木・ハリウッドホール) →詳細はP12を参照
24	「GET2019春(タイコース)」事前研修会(場所未定)
3～6	「第31回AJAFA-21・Executive Council Meeting」(フィリピン) →詳細はP14を参照
12	震災復興支援イベント「忘れない、3.11 VOL.8」(パソナグループ本部)
14	「(3月度)運営幹事会」(協会事務局)
20	「平成30年度第4回理事会」(芝パークホテル)
23～30	「GET2019春(タイコース)」現地研修 →募集要項はP16を参照



海外研修実施報告(日本→ASEAN)

Global Education Tour

高校生・大学生のための海外研修ツアー

GET Global
Education
Tour (ゲット)

GET2018夏

ミャンマーコース
8月3日(金)～10日(金)
8日間ベトナムコース
8月17日(金)～24日(金)
8日間

GETの3つの特徴

① 訪問先は東南アジア

発展途上国の
異文化社会を知る日本と関わりの深い東南アジア。
現地の人と触れ合うことで、今まで
気付かなかった異文化への理解を深めます。

② 高校生・大学生混在

グループワークによる
リーダー学習学年、性別、国籍の違う
メンバーたちと協力し、
ミッションという同じ目的に挑みます。

③ 3つのミッション

自分発見への
3つの取り組み新しい仲間とミッションをこなすうちに、
自主性やコミュニケーション
能力の向上も期待できます。

研修スケジュール

ミャンマーコース(ヤンゴン市)	
2018年8月3日(金)～10日(金)8日間	
7月16日(月・祝)	【合同】事前研修 (チーム結成、ミッション開始)
8月3日(金)	日本を出発!
8月4日(土)	ミッション①ホームステイ
8月5日(日)	
8月6日(月)	JICAミャンマー、 日系企業(双日株式会社)を訪問 現地での活躍を学ぶ
8月7日(火)	ミッション②小学校での授業
8月8日(水)	ミッション③大学で意識調査を実施 現地関係者と最後の夕食 (サンクスディナー)
8月9日(木)	世界遺産パゴダを訪問(デイトリップ)
8月10日(金)	日本へ帰国
9月9日(日)	【合同】事後研修 (ミッションの報告会)

ベトナムコース(ハノイ市)	
2018年8月17日(金)～24日(金)8日間	
7月16日(月・祝)	【合同】事前研修 (チーム結成、ミッション開始)
8月17日(金)	日本を出発!
8月18日(土)	ミッション①ホームステイ
8月19日(日)	
8月20日(月)	日系企業(丸紅ベトナム会社)の 現地での活躍を学ぶ
8月21日(火)	ミッション②小学校での授業
8月22日(水)	ミッション③大学で意識調査を実施
8月23日(木)	タインチュアン遺跡を散策 (デイトリップ) 現地関係者と最後の夕食 (サンクスディナー)
8月24日(金)	日本へ帰国
9月9日(日)	【合同】事後研修 (ミッションの報告会)

GETは、海外での現地研修(P8～P9参照)とあわせて、渡航
前の事前研修・帰国後の事後研修を実施し、研修での学びを深め、
帰国後も身に付くようなプログラムを実施しています。

次回(第20回)は2019年3月に
実施を予定しています。
裏表紙(P16)のGET募集要項をご覧ください。

事前研修 2018年7月16日(月・祝)明治薬科大学剛堂会館ビル(千代田区)にて実施

学校も学年も違う、高校生・大学生混合のチームでの
ミッションが、ここからはじまります!

3つのミッションでのテーマ(①ホストファミリーに
100個質問しよう!②小学校で日本の文化を紹介しよ
う!③日本と海外の大学でアンケート調査をして考え
方の違いを学ぼう!)についても、各チームで内容を
決めていきます。



●チーム発表後は自己紹介!アイスブレイクなど
のゲームもあり、緊張もすぐにほぐれました。



●3つのミッションで何を行うか、チームで話
し合います。

事後研修 2018年9月9日(日)日本青年館(新宿区)にて実施

3つのミッションや、現地の人たちとの触れ合いを通
して学んだことを発表します。GETが他の留学プロ
グラムや観光旅行と違う点は、行って帰ってくるだけ
で終わらないということ。

特にミッション③大学での意識調査については、時間
をかけてデータを集計して、その結果や考察を発表し
ました。発表するためにまとめていくうちに、自然と
学んだことが身に付いていきます。



●「第一部」は参加メンバーだけのリラッ
クスした雰囲気の中、それぞれが研修を通し
て学んだこと、感想などを言い合いました。



●「第二部」はゲストを迎
え、いざ発表です!



●みんな日本を出発する前とは
違う顔つきになり、堂々と自分の
意見を言えるようになりました。



●学んだことを振り返ることや、
慣れない発表資料の作成も、GET
では大切な研修のひとつです。



●それぞれが学んだこと、感じたことを、
他の参加者にも共有することで、経験値
として身に付けていきます。



●事後研修が終わったらプチ打ち上げ!
もうGETとして全員が集まる機会はない
ですが、素敵な仲間に出会えました。



●最後には井上理事長より全員に修了証書が手渡さ
れ、今回の研修プログラムは全て終了となりました。



参加者の声

●私は、初対面の人に対してなかなかコミュニケーションをとることができな
いので、今後ミャンマーで学んだコミュニケーション力を伸ばしていきたい
です。また、日本人という狭い視野で生きていかず、もっと視野を広げて、
異文化理解に努めていきたいと思いました。(大1女)

●ベトナムへ行って、逆に日本を知ることができました。また、苦手なこともチャレンジしてみると、自分が苦手
だと思い込んでいただけのことがある、ということも気づきました。自分の感情や意見も表に出せるようになり
ました。またこのプロジェクトに参加したいです。この縁に感謝です。ありがとうございました!(高1女)

●最初は不安があり、参加をするか迷いましたが、今は参加をして本当に良かったと感じています。海外の人とこ
こまで深く関わるのは初めてでしたが、ベトナム人が大好きになりました。また、何事にも一歩踏み出すことが
大切なのだと分かりました。ありがとうございました!(高2女)

●人生最高の経験ができました。高校生のうちにこの体験ができたことは、私にとって
すごく良い刺激になりました。今回のことを通して、また他の国にも行って視野を広
げたいと思うようになりました。(高1女)

●3つのミッションを通して、もっと英語を話すことができていたらコミュニケーショ
ンがたくさんとれて、もっと会話ができたのになあ、と思ったことが、とても多くの
場面であったので、英語の勉強を今まで以上に励みたいと思います。(高2女)

●日本とベトナムの環境、雰囲気、娯楽などの違いが見れて良かった。ホームステイでは、
もっと英会話力が身に付いていれば家族との会話がより理解できて、楽しめたのでは
ないか、と思うので、そこを伸ばしていきたいと感じた。(大3男)



GET2018夏 研修報告

Global Education Tour

Myanmar

ミャンマー連邦共和国

面積：約68万km² 首都：ネーピードー 言語：ミャンマー語
人口：約5,141万人(ビルマ族(約70%)、その他多くの少数民族)
宗教：仏教、キリスト教、イスラム教他 通貨：チャット(Kyat)

研修先：ヤンゴン市 研修期間：2018年8月3日(金)～10日(金)(8日間)
参加者：4名(大学生女子2名、高校生女子2名)
研修協力：JAAM(JICA来日研修生OB会組織)、
JICAミャンマー事務所、双日株式会社



世界で将来活躍するユースリーダーを生み出す「飛び出せ若者プロジェクト」の一環として実施している、高校生・大学生を対象とした体験型海外研修。今夏はミャンマーとベトナムで開催し、学生には下記の3つのミッションにグループでチャレンジしてもらいました。



Viet Nam

ベトナム社会主義共和国

面積：32万9,241km² 首都：ハノイ 言語：ベトナム語
人口：約9,370万人(キン族(越人)約86%、他に53の少数民族)
宗教：仏教、カトリック、カオダイ教他 通貨：ドン(Dong)

研修先：ハノイ市 研修期間：2018年8月17日(金)～24日(金)(8日間)
参加者：17名(大学生男子3名・女子5名、高校生男子1名・女子8名)
研修協力：VACYF(JICA来日研修生OB会組織)、丸紅ベトナム会社



3つのミッション

Mission

1

現地で
ホームステイ
を体験
しよう

参加者が4名と少しさみしい実施となりましたが、現地協力団体 JAAM の温かいおもてなしを受け、初日も緊張することなく過ごすことができました。女子だけの研修だったこともあり、現地の学生さんともすぐに仲良くなれたようでした。



[1日目] ヤンゴンへ向けて出発！初めての飛行機、初めての海外に緊張の学生も。成田空港から約7時間かけて現地へ向かいます。



[2日目] ホームステイは2人1組。1泊2日という短い間ではありますが、それぞれ思い出に残る時間を過ごしました。



[3日目] 小学生への授業はGETのメインイベント。準備にも力が入ります。チーム全員で考えたぶんぶんゴマの教材を準備しています。

小学校ではぶんぶんゴマの作り方を教えました。初めての体験に子供たちも大興奮！真剣に説明を聞いてくれる子供たちから、コミュニケーションは言葉だけではないということを学びました。大学では「将来の夢」についてアンケート調査。目的をしっかりと持って学校に通う同世代の学生たちに刺激をもらいました。



[4日目] JICA ミャンマー事務所、双日株式会社ヤンゴン支店を訪問。日本人の現地での活躍を伺いました。



[5日目] 小学校での授業。ぶんぶんゴマに子供たちも興味津々！言葉が通じなくても、現地の子供たちを楽しませることができました。



[6日目] 大学での意識調査。「将来の夢」への価値観を日本とミャンマーで調査しました。同世代の人たちと国境を越えて交流ができました。

Mission

2

現地の
子供たちに
日本文化を
伝えよう



[1日目] 総勢20名でハノイへ出発です。初めての海外への不安より、楽しみの方が大きかったようでした。



[2日目] 8家族に分かれてのホームステイ。迎えに来てくれたご家族もドキドキ。みんな、行ったらっしょい！



[3日目] 日本語を学ぶ大学生がお手伝いに来てくれました。帰国までサポートをしてくれます。友達をつくることもミッションのひとつです。

VACYFのChi会長、丸紅ベトナム会社の相良社長のお話は、海外に興味のある学生にとって、刺激をもらった経験でした。小学校でのミッションは、練習を重ねてきたおかげで子供たちも喜んでくれました。大学での調査も、時間内に目標人数からアンケートをとることができました。ベトナム語や英語で準備をした甲斐がありました。



[4日目] 今回の研修をサポートくださったVACYFのChi会長(写真右)に、ベトナムでの若者への支援事業についてお話を伺いました。



[5日目] 最大のミッション、小学校での授業！日本の伝統的な遊びなどを紹介。楽しそうに目を輝かせる子供たちが印象的でした。



[6日目] ハノイにある国際貿易大学でアンケート調査。炎天下の中、100人を目標にフィールドワーク。自主性が必要なミッションです。

ミャンマーの正装、ロンジーと呼ばれる伝統衣装にもすっかり慣れました。お世話になった方を招待しての夕食会(サンクスディナー)も開催。帰国前には世界遺産パゴダへも観光に出かけました。ミャンマーの文化にも触れることができた、思い出に残る8日間となりました。



[6日目] ご協力いただいた方々を夕食にご招待。現地の方々とすっかり仲良くなりました。伝統衣装のロンジー姿もよく似合っています。



[7日目] 帰国前のデイトリップでは、圧巻の世界遺産パゴダへ。敬虔な仏教国、ミャンマーの文化や歴史を学びました。



[8日目] 別れを惜しみながら帰国。ミャンマーの皆さん、ありがとうございました！日本ではできない体験ができた、みんな大満足でした。

Mission

3

現地と
日本の
考え方の違い
を学ぼう



[6日目] 研修期間中なんと3人も誕生日の学生が！学校も学年も違うけど、みんなで集まって女子会でお祝い。楽しい誕生日になりました。



[7日目] 総勢60名以上のサンクスディナーでは、日本とベトナムの学生さん両方から歌を贈り合いました。大盛り上がり一夜となりました。



[7日目] 市内散策や買い物で楽しい時間を過ごしたみんなとももうすぐお別れ。GETを通してたくさんの友人とたくさんの思い出ができました。

アンケート

GET過去参加者 OB・OGの声

Global Education Tour

2012年にGETが始動して以来、延べ280名の高校生・大学生を海外研修へ送り出してきました。開催は今回で第19回となり、次回は第20回（2019年3月開催予定）を迎えます。これまで、右図のような学生の皆様にご参加をいただいております。

今季の活動報告として、近年のGET参加者OB・OGの方に、「GETに参加してみて」「進路や将来など、GETが影響したこと」「これからGETに参加したいと考えている方へ」について伺いました。「氏名 1 参加コース 2 参加当時 3 現在」

石川広太(いしかわこうだい)さん

- 1 2016年夏ベトナムコース
2 埼玉県立和光国際高等学校 1年 3 同校 3年

GETに参加してみて

私は高校1年生の夏、初めての海外経験としてGETに参加させていただきました。

GETで最も素晴らしかった経験は、多くの人達と触れ合うことができたということです。高校生から大学生までの、年齢・学校・専攻分野の違う人たちと数か月に渡って様々な課題に向かう機会はなかなか得られません。さらに、日本語を学んでいる現地の大学生とも交流し、友人になれたことも非常に良い思い出です。今でも年に数回、彼らが日本に来た際は当時の参加者も含めて会っています。私は一人で物事を進めてしまうことが多かったのですが、色々な人たちと協力して成し遂げる楽しさを知り、グループワークが得意になりました。また、日本の文化や習慣について質問されても答えられなかったり、自分の言いたいことを英語でうまく表現できなかったりと、もどかしい思いもしました。いかに自分の住んでいる国のことを知らないか、どれだけ語学の勉強が自分にとって必要かに気づかされました。



●ベトナムでできた友達とは今も連絡をとっているという石川さん。色々な人たちと友達になれるGETに参加してよかったとおっしゃっています。

進路や将来など、GETが影響したこと

GETに参加した翌年夏にはイギリスでのホームステイ、秋には外務省主催の米国派遣事業にも参加し、課題であった語学力も向上し、日本についても勉強して、海外の人達との交流がスムーズになりました。大学でも引き続き語学、国際関係のことはもちろん日本の文化についてもさらに学んでいこうと思っています。

これからGETに参加したいと考えている方へ

私はどのくらい海外で自分の力を発揮できるのか、GETに参加するまで全く分かりませんでした。今思うと教室の掲示板上に貼ってあったGETの募集を見て勇気を出して応募したことが本当によかったと思っています。ぜひ、GETという外の世界から自分を見つめるきっかけを多くの人に利用してほしいです。

●GETの翌年には外務省のプログラムでアメリカのニューヨークへ。大学では国際関係の分野を学びたいと考えています。

安田胡桃(やすだくるみ)さん

- 1 2016年夏ミャンマーコース、2017年春インドネシアコース
2 東京都立若葉総合高等学校 2年生、3年生 3 拓殖大学 1年生

GETに参加してみて

私は、2016年8月にミャンマー、2017年3月にインドネシアコースのGETに参加しました。

最初の参加で英語力の低さを実感し、勉強への姿勢を見つめ直しました。その後、英検2級取得を目標とし、達成することが出来ました。何より海外が大好きになりました。

次に参加した時は、ミッションを前回よりも効率よくこなせるようになりました。失敗は必ず次に活かせることを感じました。

進路や将来など、GETが影響したこと

1つは、高校卒業後の進路です。GETに参加するまでは専門学校に進学し、放送業界へ就職しようと考えていましたが、渡航後、国際協力に関わった仕事をするために四年制大学への進学を決めました。これは、私の人生を大きく変える体験でした。

2つ目は、GETインドネシアがきっかけでインドネシア語を勉強していることです。最初は「インドネシアに行ったことがあるから」という理由で、インドネシア語を履修していましたが、2018年8月に3週間、インドネシアへ短期留学をしました。参加を終えて、「将来はインドネシア語を使った仕事に就きたい」と考えました。この時、更に私の人生が変わりました。全ては、GETへの参加がきっかけです。本当に感謝しています。



●2017年春インドネシアコースで現地の学生さんと。この時のGETの経験が安田さんの今につながっています。

これからGETに参加したいと考えている方へ

私は、GETへの参加を強くお勧めします。参加を終えたら、きっと「GETへ参加して良かった」と思うでしょう。

GETに参加すると、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力が向上します。また、ミッションを実行する上で、チームで協力し、考え、企画する力が身につきます。事前研修・渡航・事後研修でこんなにも様々なスキルが身につくツアーは数少ないと感じます。是非、前向きに参加を考えていただきたいです！



●GETに参加して海外が大好きになったという安田さん。この夏はインドネシアとフリービーンに行かれたそうです。

◆過去参加者



《これまでの研修先》

- ・中国(内モンゴル)
- ・ベトナム(ハノイ、ダナン) ・インドネシア(ジャカルタ、バンドゥン、ジョグジャカルタ)
- ・カンボジア(プノンペン、シェムリアップ)
- ・ミャンマー(ヤンゴン) ・タイ(バンコク)

《これまでの参加者数》

- ・280名(第1回2012年8月～第19回2018年8月)

正田ひかり(しょうだひかり)さん

- 1 2017年春タイコース
2 東京都立板橋有徳高等学校 2年生 3 神田外語大学 1年生

GETに参加してみて

サワットディーカ！（こんにちは！）
私はGETタイコースで多くのことを学びました。滞在中は言葉が全くわからず、表情や仕草から言いたいことを読み取っていました。タイ人はとても穏やかで、男女と一緒に話すことをためらわないのを見て驚きました。これは滞在前の私と真逆だったからです。また、日本人より楽しそうに生きていると感じました。笑顔の人も多く、何事にも全力で、かつ楽しみながらこなしていました。

進路や将来など、GETが影響したこと

私はGETでタイに行ってみて、今後タイ人とタイ語を使って深くコミュニケーションを取りたいと考えました。タイ語専攻のある大学の入試で、GETで学んだことを発表したら、合格することができました。GETでタイに行った時はタイに関われると思っていたけど、今はタイ語を学び、タイ人とタイ語でお話することが大好きです。



●明るく元気なタイの人たちに触れて、積極的になれたといいます。外国語大学でタイ語を学ぶことを決め、タイの友達と今も連絡をとっているそうです。

今ではGETのタイ人の友達とタイ語で電話をしています。タイという国に出会ったことで、毎日色々な刺激を受けながら勉強しています。私のように進路に直結しなくても、タイに行ったことでモチベーションを上げることができるのではないかと思います。

これからGETに参加したいと考えている方へ

これからGETに参加しようとしている人に伝えたいことは、迷っているなら是非参加してくださいということです。必ず良い経験が得られるからです。参加したことで、私のようにその後の進路に大きく影響する大事な経験になるかもしれません。知らない仲間と行くことに不安がある人も大丈夫です。知らない仲間と行くからこそ、自分の新しい能力に気づき、性格を変えることもできます。私自身、より活発になり、様々なことに挑戦するようになりました。是非GETに参加し、自分の未来をより良いものにして下さい。



●GETに参加して、新しいことも積極的に取り組むようになった正田さん。これからたくさん経験をしてください！

横山翔平(よこやましょうへい)さん

- 1 2017年夏ミャンマーコース
2 東京国際大学 1年生 3 同大学 2年

GETに参加してみて

GETで学んだことの1つは、それぞれの人にそれぞれの考え方があるということです。僕が参加したのは、高校生と大学生のグループでした。年齢、学年、出身地、そして考え方も全く異なるみんなと話すにつれて「そんな考え方があるのか」と新しいことばかりでとても刺激的でした。



●ミャンマーへ行って、日本との違いに気付かされたという横山さん。考え方や文化の違いを尊重することを学べたといいます。

2つ目は、今の生活が当たり前ではないということです。ミャンマーの人たちの生活は僕たちとは全く異なるものでした。道は十分に舗装されておらず、車も多いので、常に危険と隣り合わせでした。ホームステイでは、初めてお湯の出ないシャワーを使いました笑。今の生活が普通ではないということを感じるには十分でした。この経験のおかげで、日本を客観的に見るということに気づくことが出来ました。

進路や将来など、GETが影響したこと

今は大学で留学生のアシスタントをしています。留学生は世界中から来ているので異文化理解が大切になってきます。彼らは日本に来たばかりで不安で、僕らが寄り添ってあげなければいけません。そのときに活きるのがGETでの経験です。自分の意見を押し付けず、相手を理解し、相手の立場になって考えることが一番大切なことです。GETからは多くのことを学ばせていただきました。

これからGETに参加したいと考えている方へ

GETに参加するにあたって、何かははっきりとした目標を持っていないといけないということはないと思います。海外に行ってみようというのが正直で、正しい答えだと僕は思います。大切なことは、行ったときに見たこと、聞いたこと、全てを自分に焼き付けておくことだと思います。持って帰るものは土産だけではないので笑。必ず自分の力になることをGETから学ぶことができると思います。まずはチャレンジしてみましょう。



●横山さんの大学は国際色豊かな大学。様々な人々と過ごしたGETでの経験が、グローバルな大学で活かされています。

平成30年度下半期
活動予定

第10回「若者力大賞」表彰式

The 10th Youthleader Awards

開催日
決定

～毎回、会場が感動に包まれる!!～

若者力大賞
第10回表彰式開催!!

開催概要

【日 時】平成31年(2019)2月19日(火) 18:00～20:30

【会 場】ハリウッド・プラザ(東京都港区六本木6-4-1)

【受賞者】最終候補者数名から若者力大賞1名と各賞選考。

【審査員】三村明夫:(審査委員長)当協会会長・新日鐵住金 名誉会長

西尾進路:当協会副会長・JXホールディングス 名誉顧問

山中祥弘:メイ・ウシヤマ学園 理事長

橋本久美子:橋本龍太郎元首相 令夫人

蛭田史郎:旭化成 相談役 (敬称略)

【参加申込】協会ホームページからお申し込みください。

<http://www.youthleader.or.jp/> →第10回若者力大賞表彰式受賞者
近日発表!

『若者が夢と誇りをもって挑戦できる社会づくりに取り組む』という、当協会の活動理念に添って「若者力大賞」は、社会がかえる様々な課題の解決に果敢に挑戦する若者たちと、そうした若い世代の育成に取り組む指導者たちを表彰しています。

この表彰を通して、彼らの努力を讃えると同時に、次世代の子どもたちのお手本となることを期待し、さらに、周りの大人たちの理解を深めることで、社会全体で彼らの活動を支援していくきっかけとなることを目的として行っています。

「若者力大賞」過去受賞者一覧

(所属は受賞時・敬称略)

第1回 MISIA (アーティスト)

第1回 田中 将大 (プロ野球選手)

第2回 栗城 史多 (アルピニスト)

第2回 山口 もえ (タレント)

第3回 村田 修一 (プロ野球選手)

第4回 平原 綾香 (歌手)

第5回 宇佐美 吉啓 (パフォーマー)

第6回 道端 ジェシカ (モデル)

第7回 倉木 麻衣 (歌手)

第8回 ジギャン クマル タパ (かながわ国際交流財団職員)

第9回 サヘル ローズ (女優・モデル)



●「第9回若者力大賞表彰式風景」(2018年2月21日/東京六本木・ハリウッドホール)

平成30年度下半期
活動予定

「アジアからの来日研修」下期の計画

Japan-Asia Youth Exchange Program in Science

国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST)

さくらサイエンスプラン

Japan-Asia Youth Exchange Program in Science

これまでに
実施した
さくらサイエンス
プラン

「さくらサイエンスプラン」は、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が2014年から行っている研修支援プログラムで、アジアの青少年(40歳以下で日本をまだ訪問したことがない人)を対象に、日本の科学技術を学びながら、同時に日本の同世代との交流を深めることを目的として行う研修に対して、その研修費用の助成を行っています。当協会は、2016年度から同プランを活用した来日研修を実施しています。今年度下期の計画は下記のとおりです。

①「中国・高校生」来日研修 ※実施済
(2018年10月1日-7日)

中国・西安から15名の高校生(男8名、女7名)と3名の引率者の計18名を迎え、科学技術研修のプログラムを実施しました。中国国慶節の連休を利用して来日した高校生たちは、西安科学技術局より選りすぐられた優秀な学生で、7日間の短期間でしたが、研修中は、鉄鋼産業、宇宙開発、エネルギー、地球環境などの各視点から日本の科学技術を学び、また女子高校生との交流を通して相互の理解を深めました。(※実施報告はホームページからご覧ください。)

②「タイ王国・高校生」来日研修 ※採択済
(2018年11月23日-30日)

タイ王国から15名の高校生(男7名、女8名)と2名の引率者の計17名を迎え、8日間の科学技術研修のプログラムを実施します。「さくらサイエンスプラン」を活用したタイ王国からの研修生の受け入れは今回が初めてで、友好団体のFYAA(The Friendship Youth Alumni Association of Thailand)との連携で実現しました。

③「ベトナム・高校生」来日研修 ※採択済
(2019年1月25日-2月1日)

ベトナム社会主義共和国から高校生15名(引率者2名)を迎えての研修を実施します。

①「中国・教師団」(16名)
(2016年6月5日-11日)②「ベトナム・大学生」(12名)
(2016年12月6日-12日)③「中国・高校生」(16名)
(2017年2月26日-3月4日)④「中国・高校生」(14名)
(2017年10月1日-7日)⑤「ミャンマー・大学生」(16名)
(2018年2月24日-3月2日)

「ASEANとの交流活動」下期の計画

AJAFA-21



AJAFA-21

ASEAN-Japan Friendship Association for 21st Century / 1988設立

- ・1984年(昭和59)、当時の中曽根総理がASEAN諸国に対して、人材育成の協力支援を提案。各国から次代を担う青年たちを日本に招聘して、技術研修や世代間交流、ホームステイなどを通し、日本とASEANとの信頼関係を深める目的で青年研修事業がJICAによってスタートしました。
- ・その後、ASEAN以外の途上国からも毎年多くの若者を招聘して、これまで日本で学んだ研修生は4万人を数え、そのうちASEANからは2万人を超えます。
- ・ASEANからの研修生たちは、帰国後、それぞれの国でOB会(Alumni)を結成。各国で次に続く世代の育成に取り組む傍ら、同時に、ASEAN10か国のOB会が一つになって交流活動を続けています。その組織が、「AJAFA-21」(ASEAN-Japan Friendship Association for 21st Century / 1988年設立)です。
- ・当協会は、日本を代表して正式メンバーとして参加。毎年、AJAFA-21が主催するリーダーズフォーラムや代表者会議、さらにはTV会議に参加して、各国との交流を重ねています。
- ・今年度下期のASEANとの交流活動計画は下記のとおりです。

① 「24th RLF (Regional Leaders Forum) in Siem Reap, Cambodia」(2018年11月29日-12月2日)

ASEAN各国の若者たちが集いあう交流フォーラム。1990年に第1回目(シンガポール)を開催して以来、毎年、各国持ち回りで開催を続けています。



●第14回 RLF (タイ) 2008.10



●第18回 RLF (ラオス) 2012.11

② 「31st ECM (Executive Council Meeting) in Philippines」(2019年3月3日-6日(予定))

各国OB会の代表者会議。1988年にAJAFA-21発足と同時に第1回目(インドネシア)を開催。以来、RLF同様、各国持ち回りで開催を続け、2015年2月には、青年研修事業30周年を記念して東京で開催いたしました。



●第30回 記念大会(東京) 2015.2



●第27回 ECM (東京) 2015.2

③ 「TV Conference」
(第37回 2018年11月8日(予定))

●第30回 ECM (ミャンマー) 2018.3

「NEXT50委員会」下期の計画

NEXT50 Committee



公益財団法人日本ユースリーダー協会は、1969年7月1日設立。
2019年7月1日には、設立50周年を迎えます。

50周年という大きな節目を迎えて、次の新たな第1歩を踏み出すときに、これまで歩んできた50年の歴史を振り返ると同時に、これからの時代に即した公益法人としての役割を、あらためて見つめ直すことも必要です。

そこで、理事会の中に「NEXT50委員会」(委員長: 隈丸優次理事)を設置し、会員の皆様をはじめ広くご意見をお伺いしながら、継続するもの、見直すもの、新しい課題への取り組みなど鋭意検討を重ねています。

協会ホームページに、〈50年の歩み〉をご紹介します。

<https://www.youthleader.or.jp/団体紹介/沿革/>

もしくは「ユースリーダー」で検索して、協会ホームページの団体紹介/沿革をご覧ください。

ご意見やアイデアなど、また古い資料などをお持ちでしたら、何とぞお寄せいただけますと幸いです。

＜主な歩み(10年ごとの抜粋)＞

1969	「財団法人勤労青少年グループワーク協会」(労働省認可)設立 ★(初代会長)藤井丙午(八幡製鉄株副社長・当時) ★(設立者・専務理事)堀添勝身	
1979	設立10周年記念「1円玉募金運動」開始 「1円玉募金」でモルディブ共和国に、コメ30トン援助	
1984	外務省「21世紀のための友情計画(国際協力事業団)」スタート →当協会は海外青年研修生の受け入れ協力を初年度から開始 ASEAN研修生OB会「AJAFA-21」との交流継続中	
1986	国際青年年(IYY)を記念して「財団法人ユースワーカー能力開発協会」に改称 ★(理事長)堀添勝身	
2000	「日本ベトナム人材協力センター(JICA)」(ハノイ)開設。 初代所長(国家公務員)に堀添理事長就任	
2009	設立40周年記念顕彰制度「若者力大賞」を創設・継続実施中	
2010	創設者・堀添勝身氏逝去(2010.3.24享年70歳)	
2012	財団法人から公益財団法人(内閣府所管)に移行(2012.4.1登記) 「公益財団法人日本ユースリーダー協会」に改称 (事務所移転: 東京都港区新橋1丁目→東京都港区赤坂1丁目へ) ★(評議員会会長)三村明夫(2013.11 第19代日本商工会議所会頭) ★(代表理事・理事長)井上義郎(川崎重工業・元副社長)	
2012	高校生・大学生のための「海外研修事業<GET>」開始・継続中	
2016	アジアからの「来日研修事業<さくらサイエンスプラン>」実施・継続中	
2019	設立50周年	